

よしもと昌純 プロフィール

昭和32年1月23日生まれ

和歌山市吉原在住

和歌山市立安原小学校
(吉原分校)

和歌山市立東中学校

和歌山県立向陽高校

近畿大学卒

和歌山市役所24年8ヶ月勤務

平成19年4月 和歌山市議会議員に初当選

家族: 妻、長男夫婦、長女夫婦、孫5人

趣味: 神社・仏閣めぐり、スポーツ

好きな言葉: 一隅を照らす

変化への 挑戦

心の政治であったかい市政を

こんにちは、吉本昌純です。私は和歌山市で生まれ育ちました。市職員を24年8か月、市議会議員を4期15年、合わせて約40年間、私の人生の大半は和歌山市政、市民の皆様とともにありました。

この間、「心の政治」を一貫したテーマに、人の痛みがわかる政治家であり続けたいと、常に初心を忘れることなく、自身の立ち位置を確かめながら市民の皆様とお会いし、話し、暮らしに関わる身近な問題や課題と向き合ってきました。その姿勢、取り組み方に恥ずべきことは一切なかったと自負しております。市民本位、市民が主役のまちづくりを目指し、懸命に取り組んでまいりました。

しかし、現市政は残念ながら私が目指してきたものではありません。教育予算は削られる一方、箱もの行政には多額を投入し、借金は過去にない額に膨れ上がっています。また、花山の漏水事故から2年経たずして六十谷・水管橋崩落事故が起こったことについては、市民の命と財産を守ることが第一の使命であるはずの行政トップとして危機意識が乏しいと断じざるを得ません。カジノを含むIRR計画は市民の皆様の中にも賛否はあると思いますが、ただその是非を直接市民に問う住民投票に反対したことは市民本位のまちづくりを目指す私の姿勢と大いに異なります。

市民本位の、市民が安心安全に暮らしていけるまちづくりを加速させるためには思い切った変化が必要です。旧態依然の政治の流れを断ち切らなくてはなりません。しがらみのない私、吉本昌純にはできません。その覚悟と情熱があります。一隅を照らす、主役の市民が積極的に関わっていける「あったかい市政」づくり、その「変化への挑戦」を吉本昌純は始めます。

よしもと昌純

まさ ずみ

後援会事務所

〒640-8317 和歌山市北出島1-53-6

Tel 073-488-3217

Fax 073-494-4788

✉ kokoronoseiji@gmail.com



HPはこちら

各SNSで発信しています！



後援会
Facebook



本人
Facebook



後援会
Twitter



本人
Instagram

YouTubeチャンネル

記者会見動画は右QRコードから▶



南インター設置、貴志川線存続に貢献！

北部に浄水場、市児童相談所の設置を目指す！

●市議に初当選した平成19年から阪和自動車道南インターチェンジ設置の必要性を強く訴え、議会での提案を続けるとともに地元の意見集約に努めた。また、設置決定後も南インターの周辺整備を求め、災害等有事の時の周辺地域からの応援体制の受け入れ拠点として消防活動センターと消防岡崎分署を誘致。南インターは同31年に供用を開始し、下津港湾（和歌山港）と直線で結ぶ産業物流ゾーンの玄関口を担うとともに、四季の郷公園や和歌の浦などへ訪れるレジャー客のアクセス道路の機能と渋滞緩和にも貢献。今後は南インター付近の規制緩和を図って開発を進め、企業誘致と市・県の特産であるフルーツを売り込んでいく販路拡大のシルクロード化を目指す。

●たま駅長で世界的に有名になった和歌山電鐵貴志川線の存続を粘り強く訴え、県と紀の川市・和歌山市の三者からの補助金を獲得、存続につなげた。しかし、補助金の期限が間もなく終了することに加え、コロナ禍によりインバウンドの乗客が激減、利用者、沿線住民も危機感を募らせている。今後は、公共交通という位置づけで、運営は電鉄、保線は行政の上下分離方式での存続を目指して取り組んでいきたい。同時に各鉄道駅とバスをつなぎ、市民の利便性の向上と利用客増を目指したい。



吉本昌純が取り組んできたこと、取り組みたいこと

●虐待・いじめ・不登校等子どもを取り巻く問題に対応する子ども総合支援センターに関わる教育委員会・保健所・福祉等関係機関の情報共有が希薄であったため、関係機関の担当者を集約するよう求めた。これにより相談者に対するワンストップ窓口も実現し、利便性の向上、対応の迅速化が図れた。子どもが関わる悲しい事件・事故を無くしていくため、同センターの機能充実とともに市独自の児童相談所設置を進めたい。

●NPOやボランティア団体などまちづくりに関わる市民グループの皆さんと交流し、自らもまちづくり活動に積極的に参加してきた。これまで地域コミュニティを支えてきた自治会は入会率が激減し地縁組織としての機能が弱体化している。新しい自治の形を目指し、NPO団体などと協働して地域コミュニティを再生していきたい。

●花山交差点付近の漏水騒ぎ、六十谷・水管橋崩落事故によって多くの市民の暮らしに大きな影響をもたらしました。これを教訓として、北部地域へ早急に浄水場を整備して、北、南どちらかの浄水場が機能停止した場合に送水できるシステムを早急に構築する必要がある。水は命に直結する問題です。事業の取捨選択、他の事業を中断してでも北部地域の浄水場整備を進めます。



吉本昌純が目指す あったかいまち



子どもを育むあったかいまち

- 子育てゼロ化
 - ・中学校給食の全校実施と小・中学校給食費ゼロ
 - ・高校生まで医療費ゼロ
 - ・保育料ゼロ
- 小中一貫校の増設
- 虐待・いじめ・不登校等の子どもを守るため関係機関との連携強化、市児童相談所の設置
- 発育の気になる子どもが小学校に入学するまでの丁寧な手立て
- 海山川を生かしたスポーツ・文化の振興
- 感染症対策と対面授業の工夫 ●ふるさと教育の充実
- こども食堂の支援（相談窓口の設置＝コーディネーターの配置、フードバンク創設、ボランティアの斡旋と運営の助言）

安全で安心なあったかいまち

- 紀ノ川右岸地域の早急な浄水場整備と老朽水道管の点検と更新
- 路線バスを市内各鉄道駅と結び交通弱者のアクセス向上を図る
- 空き家対策（売買や賃貸、リノベーションの促進と公共的な活用）
- 和歌山城の耐震補強・修理 ●南海トラフ地震への対策
- 都市排水の整備
- 内川を利用した水上バスの検討（ぶらくり丁～和歌浦～マリナシティ）
- 100歳大学の公設 ●3世代同居・近居の促進・拡充
- NPOやボランティア団体などと協働して進める地域コミュニティの活性化

チャレンジできる、働けるあったかいまち

- 起業・創業支援（空き家等を活用したインキュベーションオフィスの設置、起業・創業サポート課の新設、融資制度の新設など）
- 和歌の浦から加太のベイエリア環境を生かし、リモートワークに特化した“ワーケーション”の候補地として売り込んでいくための環境整備
- 地元企業の応援
- 農福連携による障がい者の雇用推進
- 農・漁業者の生活基盤の安定
- 脱炭素都市を目指し、クリーンエネルギーへの転換・移行に向けて調査。成長産業である再生可能エネルギー関連企業の誘致に積極的に取り組む

無駄を省き市民サービスの向上を図るあったかいまち

- 補助金・交付金のゼロからの見直し
- 公共施設のスリム化
- 企業局（水道・下水道）会計の効率化
- 徹底した無駄の排除
- サービスセンターの多機能化
- マイナンバーカードの加入促進と電子自治体化
- 職員の超過勤務の削減

